

南部町統合庁舎建設基本・実施設計業務 プロポーザル審査結果報告書

平成30年7月

南部町統合庁舎建設基本・実施設計業務プロポーザル選定委員会

1. 選定結果

最優秀者 株式会社 八洲建築設計事務所

2. 選定概要

(1) 選考方法

設計者の選定については、公募型プロポーザル方式を採用し、南部町統合庁舎建設基本・実施設計業務プロポーザル説明書に基づき、参加資格を満たす者を公募により募集した。

審査にあたっては、南部町統合庁舎建設基本・実施設計業務プロポーザル選定委員会による一次審査及び二次審査を経て設計者を選定した。

(2) 参加表明者

2 者

(3) 参加資格審査の確認

参加表明者から提出された書類により、専門分野の技術者資格や同種・類似業務の実績などの着目点において、参加資格を満たしているか事務局で確認を行い、参加表明者 2 者とも一次審査に進む者に選定し、技術提案書の提出を要請した。

(4) 一次審査

一次審査では、参加表明者から提出された書類により、業務実施方針及び手法、専門分野の技術者資格や同種・類似業務の実績などの着目点において、資格及び技術力の評価を行った。

業務の実施方針及び手法の評価項目として、業務の理解度及び取組意欲、設計チームの特徴や特に重視する設計上の配慮事項について評価を行うこととし、基本計画の基本理念、基本方針の内容と合致しているか確認し、委員が個別に採点を行い、集計した結果は以下のとおりであった。

【審査結果】

No.	提出者	評価点
1	設計者 A	58.9 点
2	設計者 B	61.0 点

上記の審査の結果、参加表明者 2 者とも二次審査に進む者に選定し、プレゼンテーション及びヒアリングへの参加を要請した。

(5) 二次審査

二次審査では、業務の実施方針及び手法の評価項目について総合的に判断するため実施したものであり、一次審査で選定された2者から提出された技術提案書等及びプレゼンテーション・ヒアリングの結果を踏まえ、以下のとおり設計者を特定した。

【最終審査結果】

順位	設計者名	備考
第1位	株式会社 八洲建築設計事務所	<最優秀者>
第2位	株式会社 楠山設計	

3. 南部町統合庁舎建設基本・実施設計業務プロポーザル選定委員会委員の構成 (順不同、敬称略)

	氏 名	所 属 等	専 門
委員長	北原 啓司	弘前大学大学院教授 (元 南部町統合庁舎建設委員会委員長)	都市計画 コミュニティ・ デザイン
副委員長	滝田 貢	八戸工業大学教授 (元 南部町統合庁舎建設委員会委員)	耐震工学
委員	松本 真一	秋田県立大学大学院教授	環境工学
委員	佐々木 俊昭	副町長	
委員	川村 正則	建設課長	

4. 選定の経過

平成30年5月11日(金)	プロポーザル実施の公告
5月18日(金)	プロポーザルに関する質問書の受付期限
5月29日(火)	プロポーザル説明書配布締切
5月29日(火)	プロポーザルに関する質問の回答書公表
6月4日(月)	参加表明書の提出期限
6月7日(木)	技術提案書提案者の選定通知
7月4日(水)	技術提案書の提出期限

7月18日(水)	一次審査
7月20日(金)	プレゼンテーション・ヒアリング参加要請
7月29日(日)	二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)

5. 審査及び講評について

このたび参加表明された提案者は、いずれも豊富な設計実績を有し、管理技術者をはじめ、各主任技術者の実績や経験も申し分なく、プロポーザルの審査項目に掲げた各評価テーマについて真摯に取り組んだ技術提案書が提出されました。

審査にあたっては、参加表明書等をもとに事務局が資格審査を行い、その結果を踏まえて一次審査を通過した提案者2者へ二次審査への参加を要請し、プレゼンテーション及びヒアリングを実施したものです。

最優秀者として選定された株式会社八洲建築設計事務所からは、「地域がつながり、町民がつながる、集う『ながく愛される庁舎』を目指して」を実施方針のキャッチフレーズとして、次の3つのコンセプトを基軸に提案されました。

- ①南部町の風土に根差した町民と共につくる『ながく愛される庁舎』
- ②コミュニティが生まれる町民広場
- ③ユニバーサルでフレキシブルな庁舎

提案のコンセプトにあわせて、あらかじめ設定した次の4つの評価テーマについて、それぞれ技術提案がありました。

①町民の活動や交流を支え、まちづくりの拠点となる庁舎

町民が憩い育む『コミュニティ庁舎』となるよう、気軽に立ち寄りやすくする機能的なプロムナードや（仮）中央公民館をつなぐ土間空間（南部たまり場回廊）、町民広場（南部ひだまり広場）を配置し、分かりやすく利用しやすいフロア構成、にぎわいを作り出す施設計画とする。

②環境に配慮し、災害時の拠点となる安心・安全な庁舎

環境負荷の少ない快適な施設となるよう、建築形態を活かし、バランス式自然換気等を設置して爽やかな室内環境をつくるほか、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）実証事業の提案をはじめ、省エネルギー、ランニングコストの削減につながる事業を提案する。

③町民の交流機能を支え、周辺環境や景観に配慮した庁舎

南部町の歴史と風土が感じられる庁舎となるよう、地域に根付く木を活かした景観づくりや四季折々に変化する環境との調和を図る。

④上記①～③以外で独自提案が可能なもの

みんながつながる町づくり まち育ての起点となる庁舎となるよう、人と人、既存施設、交流を生み出す南部たまり場回廊と会議室をつなぐ。

これら以外の項目についても、特に環境面において技術力の高い提案が評価され、最優秀者として全会一致で選定されました。

第2位の株式会社楠山設計は、南面のガラスに縦格子を設置し、日除けルーバーとして機能させるなど、大胆なファサードデザインとしたほか、屋根付きの屋外通路を通じて一体的に連携が図れる計画について提案されましたが、環境配慮型建築に対する具体的な目標値を設定していないなど、町民が集うまちづくりの拠点整備という観点において、最優秀者を上回る評価には至らず、優秀者には特定しませんでした。

終わりに、今回のプロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた提案者各位の努力と熱意に対し、心より敬意を表しますとともに、今後、新庁舎が長期にわたって町民の皆さんに愛されることをご祈念申し上げ、審査にあたっての講評といたします。

南部町統合庁舎建設基本・実施設計業務
プロポーザル審査委員会 委員長 北原 啓司